

# 2013（平成25）年度後期 DUO リーグ会議

【日 時】 2013（平成25）年12月22日（日） 17:00～19:15

【場 所】 筑波大学附属高校会議室

【出 席】 29クラブ(氏名。下線は遅刻)

都小石川（長山）、昭和一（永井）、三菱養和（山本）、京華（石川）、都向丘（津田）、筑波大附（中塚）、学習院（玉生）、豊南（小寺）、本郷（岩野）、城西（中川）、豊島学院（北爪）、郁文館（丸山・委任）、駒込学園（川上）、巣鴨（山中）、立教池袋（新島）、獨協（神宮司）、淑徳巣鴨（石原）、都竹早（蓑田）、日大豊山（海老根）、都文京（森脇）、都江北（蓑輪）、足立学園（伊藤）、都荒川商（原）、中大高（加藤）、都千早（荻田）、文京区中学生選抜（丸山）、FC西巣鴨03（岸弘之）

【欠 席】

- ・郁文館：井上先生より欠席連絡あり。丸山先生に委任。
- ・文京区中学生選抜：武藤氏より欠席連絡あり。丸山氏に委任。
- ・都足立：欠席連絡なし → チェアマンから厳重注意
- ・都足立西：欠席連絡なし → チェアマンから厳重注意

【オブザーバー：高校生】

根本（京華）、中山（荒川商業）、内野（向丘）、高澤・富澤・蓑輪・安達（筑波大附）

【オブザーバー：一般】 栗原（東京リゾート&スポーツ専門学校）、馬場（巣鴨）、大河原（筑波大附）、岸卓巨（DUO事務局）

【議事録作成者】 岸卓巨（事務局）

【議題】

## I. 理事会より

- ・事務局長からの報告
- ・第3回理事会報告
- ・学識経験理事より

## II. 各担当より

- ・企画部門
- ・管理部門
- ・事業部門
  - 後期 DUO イベント - フリーサイズフットボールについて
  - 各賞選出

## III. 2014年度へ向けて

## IV. その他

---

<DUO リーグ会議ダイジェスト（決定事項を中心に。詳細は下記参照。)>

### ◆2013年度後期イベント - フリーサイズフットボール チャンピオンシップ結果

優勝：午前2時のオーバーラップ（本郷）

準優勝：筑波 A

3位：石川（小石川）

4位：豊南

◆各賞選出

MVP：村田捷行（かつゆき）（午前2時のオーバーラップ：本郷）

ベストオーガナイザー：灘侑佑（筑波大附2年生）

→受賞者2名には靴型トロフィーのレプリカが送られます。

MIP、特別賞、優秀審判賞：該当者なし

◆来年度リーグについて

- ・TリーグについてはこれまでT3までだったものが、来年度からT4ができます。
- ・地区トップリーグは各地区から2チーム×8地区=16チームが上がって構成します。DUOリーグからは、学習院・都江北・豊島学院・京華の4チームが参戦します。
- ・2013年度前期の結果により2014年度前期DUO1部リーグに都江北B、都江北Cが参戦します。
- ・2014年度後期DUOリーグは今年度と同じような形でワンデーフリーサイズを、11人制を増やすことと、大会回数を増やすことを意識しながら実施します。

◆研修会など

- ・12月22日にストレッチとテーピングの講習会を行いました。（企画部より）
- ・2～3月にリサイクルプロジェクト「記念品づくり」を企画しています。（企画部より）
- ・DUOリーグ主催の審判講習会を3月9日に城西で行います。（審判部より）
- ・限られたスペースでのトレーニングをテーマにした講習会を行います。（技術部より）  
→今後実施の研修会などについては、詳細が担当者よりメーリングリストにて送られる予定。

◆経理関係（事務局より）

- ・審判費および会場運営費、また加盟費等の領収書をお渡ししています。
- ・まだ参加費等お振込みいただいていないクラブは大至急振込をお願いいたします。
- ・審判費については本日1000円としてお渡しして、差額は次回の会議の際にお渡しします。

⇒ 次回 DUO リーグ会議：3月2日（日）17:00～19:00 筑波大附属高校

（1部リーグ日程調整会議を同日 DUO 会議終了後に実施予定）

---

## I. 理事会より

中塚：この会議を持って2013年度後期DUOリーグは終わりとなりますが、次年度に向けた会議はもう1度3月に行います。岸事務局長が2年ぶりに帰ってきましたので、一言お願いします。

◆事務局長からの報告

岸卓：ケニアでの2年間の青年海外協力隊としての活動を終え、9月末に帰国しました。私が不在の時に事務局を務めていた三ツ矢氏も学校での勤務が忙しいということで、これからは主に私が事務局業務を担当いたします。また、個人的には現在さまざまな学校を回ってケニアや途上国の話をさせていただいておりますので、もし皆さんの学校でも国際理解の授業時間などにお話させていただけるタイミングがありましたら、お気軽にお声かけいただければと思います。よろしく願いいたします。

◆第3回理事会報告（Eメールのやり取りで開催）

第1回理事会

日時：2013年5月17日（金）19:00～21:00すぎ

会場：筑波大学附属高校体育教官室

## 第2回理事会

日時：2013年6月27日（金）19：00～20：40

会場：筑波大学附属高等学校前庭（気持ちがよかったので前庭に椅子を出して開いた）

## 第3回理事会

日時：2013年12月4日（水）～12月21日（土）

会場：ネット空間

中塚：前期に2回理事会を行い、後期はEmailを使ってネット空間で理事会を行いました。その時のやり取りを資料としてお配りしていますのでご確認ください。ネット空間での理事会ですので、会議費は発生しません。主に本日行ったチャンピオンシップの運営について意見交換しました。

## ◆学識経験理事より

### 1) 高体連第2地区の現状と課題（小金丸）

中塚：学識経験理事として地区トップリーグチェアマンである学習院の玉生先生、上位リーグの会議に出席している足立学園の伊藤先生、高体連の第2地区責任者である京華高校の小金丸先生の3名の方に理事会に加わっていただいています。今日は小金丸先生はお休みですが、あらかじめ文章をいただいています。永井先生よりお願いします。

永井：昭和一の永井です。2地区では総務を務めております。小金丸先生からの強化・育成・普及の3本柱に関する文章をお配りしていますのでお読みいただければと思います。

中塚：高体連8つの地区の中で2地区があまり良い結果を残せていないということですね。地区全体でしっかり底上げしつつ、トレセン活動や地区のリーダー研修会のあり方などDUOリーグ・高体連・サッカー協会それぞれどこを担うかを考えながらいい方向性を目指せばと思います。

### 2) 上位リーグおよび高体連の競技会の動向（玉生・遠藤）

玉生：資料をご覧ください。2014年度からはTリーグも地区トップリーグも変わります。プレミアリーグがトップにあり、東京からは三菱養和とヴェルディが参加しています。関東プリンスもこれまで1部・2部制でしたが、2014年度からは1部リーグ制になり、来年度はFC東京と国学院久我山が参戦します。あと、ちょうど今、関東プリンスへの昇格戦を横川武蔵野が戦っています。これに勝てば、横川武蔵野が関東プリンスに参入します。

**TリーグについてはこれまでT3までだったものが、来年度からT4ができます。**T2のところが増えたと考えればいいと思います。今までT2の部分がなかったのが、来年度からはできて、単純にチーム数で言えば、10チーム増えます。その穴埋めを地区トップリーグからしていくという形です。地区トップリーグは各地区から4チーム吸い上げて、8チーム×4グループの32チームを目指していますが、昇降格の関係で来年度は32チームにはならず、30チームもしくは31チームで行います。各地区リーグに参加しているチームは図の通りです。全部合わせると、東京都のリーグ戦に参加しているチームは400チーム以上になります。

地区トップリーグの結果については資料の裏面に掲載しています。現在、各リーグ同順位での順位決定戦を年内締切でやっています。地区トップリーグからT4に上がっていくチームは9チームもしくは10チームです。各リーグの3位まではT4に上がることが確定しています。そして、横川武蔵野が関東プリンスに上がった場合は、10チーム目の東大和もT4上がれます。地区トップリーグから

各地区への降格はなく、来シーズンは各地区2チーム×8地区=16チーム上がって地区トップリーグを構成します。

地区トップリーグを東西で分けたいという意見がDUOリーグを含め各地区から挙がり、Tリーグに打診しましたが、猛反発がありました。その理由で僕が一番納得しているのは、全都展開でリーグ戦をこなしたチームをTリーグに上げて欲しいということです。そういう訳で地区トップリーグは今後全都展開で行っていく方向で軌道修正したようです。Tリーグは「つなげてやった」という意識があるようで、なかなかこちらが主導権を握ることができません。ご了解ください。

中塚：Tリーグと地区トップリーグのつながりに関して、一番責任を持っているのはユースダイレクターの斎藤登さんですか。

玉生：責任はありませんね。基本的には運営委員の意見です。

中塚：他の方から質問などございますか。高校生には分かりにくい話かもしれないけど、京華の根本君話分かった。

根本：分かりました。

中塚：すばらしいね。

<参考：DUOより上位にあるリーグの結果>

- ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2013 プレミアリーグEAST  
三菱養和 … 第7位 (10チーム中)
- ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2013 プリンスリーグ関東
- ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2013 東京 (Tリーグ)  
足立学園 … T2リーグBブロック 第9位 (10チーム中)  
都立 … T3リーグAブロック 第8位 (8チーム中)  
本郷 … T3リーグBブロック 第8位 (8チーム中)  
(都豊島 … T3リーグBブロック 第7位)
- ・地区トップリーグU-18東京2008  
三菱養和B … グループA 第1位 (8チーム中)  
学習院高等科 … グループA 第7位 (8チーム中)  
都江北 … グループA 第8位 (8チーム中)

## ○三菱養和

中塚：それぞれのリーグに出場しているチームより一言ずつお願いします。まず、プレミアリーグに出場している三菱養和は10チーム中7位で、今回は割と余裕で来ていたのかなと思っていたのですが。

山本：余裕ではなく最終節の1試合前で残留が決まりました。7位と先シーズンよりは1歩前進しましたが厳しい試合を10月まで3年生も残ってできたということで、選手もスタッフもクラブも良い経験をさせてもらっていると思います。来年度はBチームもT4に入れることになりました。複数チームがリーグに参加できるというのはDUOリーグから始まった考えですので素晴らしいと思っています。そのおかげでスタッフも経験を積むことができます。また、Tリーグに上がればユースが審判をやらなければいけなくなりますが、養和にはまだ資格を持っている選手がいないので一から育てていく必要があると思っています。

中塚：プレミアリーグEastは東日本エリアの試合だから札幌に行ったりもするんですよね。交通費はどうなっているんですか？

山本：交通費は正規料金の6割を日本サッカー協会からいただいています。宿泊費も札幌、青森の時は補助が出ます。当然メンバーも17名に絞って連れて行っています。

中塚：ホームアンドアウェーなので養和の巣鴨のグラウンドでもやっているんですよね？

山本：そうですね。基本的にホームゲームの運営は自分たちで行いますので、試合に出ない選手にも良い経験になっています。何でもかんでも大人がやるのではなく、選手たちもそのような経験を積むことは素晴らしいことだと思います。

玉生：失礼しました。資料のT4に三菱養和Bを加えてください。

### ○足立学園高校

伊藤：今シーズンは選手権の地区予選を負けた段階で3年生がキャプテン宮越以外辞めてしまいました。なかなか勝ち星に恵まれず、負ける時は失点を多くしてしまい、10チーム中9位という成績でした。来年度はT3に出場しますが、T3は死守したいと思いますし、願わくばT2にもう1度上がりたいと思っています。

中塚：リーグ戦は何月くらいまでやっていましたか。

伊藤：10月までです。

### ○本郷高校

岩野：T2もほとんど残留できない状態からリーグがスタートしました。T3も各リーグの上位3チームしか残留できないので、あまりモチベーションは高くなく、高体連の公式戦に向けたチームづくりのための練習試合感覚でやらせてもらいました。その結果、勝利はなく、引き分け1試合の惨敗でした。本郷はここ2年、工事の関係でグラウンドを提供できず、他校のグラウンドを借りて運営してきました。ただし、ホームゲームとして運営しますので、本部・記録・ボールボーイなどを7試合中3～4試合は行いました。**DUOリーグも運営に関してホームゲームを決めてやってもいいかなと思います。**Tリーグはその意識を持っているのでしっかりと運営できているのかなと思います。審判に関しては、Tリーグでは、両チームからユース審判を1名ずつ出して副審をやります。主審には5,000円を払いますが、副審はTリーグからはお金は出ず、無償ボランティアでやっています。ただ、資格を持っていて、Tリーグが始まる前にTリーグの審判講習会を受けた人しか審判ができないので、事前にTリーグの審判講習会を受けた2名しか審判ができず、厳しい状態の中で審判をやっています。

### ○学習院高校

玉生：DUOリーグでやってきたことを発展させつつ、T3リーグのレギュレーションを意識してやっています。できれば、Tリーグに上がっていくので、1個上のリーグと同じレギュレーション、運営方法でやりたいと思っています。上がった時に迷惑をかけない力を付けられるようにしたいと思っています。まだまだ各地区から上がってきたチームに温度差があり、難しい部分もありますが、一応はTリーグに行っても恥ずかしくない状態で運営している状態です。今回はたまたま2地区のチームが同じグループに固まってしまいましたが、各地区のチームとやれるのはいい刺激になっています。

## ○江北

菘輪：学習院と同じリーグで戦いましたが、結果的には降格になりました。全都展開なので片道2時間かかるような遠いグラウンドもあり、交通費などについても考えなければいけません。江北は3年生も含めると部員が70名くらいいて、DUOに2チーム、地区トップに1チーム参加していたため運営は大変でしたが、何とかスタッフで手分けしてやっていきました。来年度も両方でお世話になりますので、よろしくをお願いします。

## II. 各担当より

### 1. 企画部門（岸）

#### 1) 医・科学活動推進部（◎文中選・三菱養和）

岸弘：企画部の岸です。本日1時から東京リゾート&スポーツ専門学校の荒井先生、トレーナー科生徒の井澤さん、廣瀬さん、藤井さんに来ていただき、ストレッチとテーピングの講習会を行いました。参加は12クラブ、98名で2つの教室で行いました。リゾスポの学生さんにもよくやっていただいていた大変良い講習になったと思います。

#### 2) リサイクルプロジェクト推進部&地域活動推進部

文京区…◎獨協、昭和一、中大高

豊島区…◎巣鴨、豊南

足立区…◎都江北、都荒川商、都足立

山中：本年度の活動としては次回 DUO リーグ会議かイベントデーに合わせて 2~3月にリサイクルプロジェクトを企画しています。スタッフ、会場の都合が付き次第ご案内いたします。これまでは、靴磨きを中心にやってきましたが、今回は記念品づくりを計画しています。

### 2. 管理部門（井上）

#### 1) 経理部（◎事務局・足立学園）

岸卓：本日 2013 年度前期リーグの審判費および会場運営費、また加盟費等の領収書をお渡ししていますので、まだお受け取りいただけていないクラブの方は、帰る前にお受け取りください。配布資料を見ていただければと思いますが、まだ参加費等お振込みいただけていないクラブがあります。大至急振込をお願いいたします。会議費については後期リーグに関してはなしでよろしいですか。

中塚：地区トップリーグはどうしているんですって。

玉生：地区トップリーグの会議費は地区トップリーグから出してもらっています。

中塚：前期のプログラム代は1冊いくらにしたんですって。

岸卓：1冊400円で各クラブ5冊はリーグ負担にしています。

岸弘：審判費は前回から2000円になったのではないのでしょうか。

中塚：そうですね。

岸卓：大変失礼いたしました。本日は、審判費は 1000 円としてお渡しして、差額は次回の会議の際にお渡しします。

## 2) 広報部 (◎淑徳巣鴨・都向丘)

中塚：広報部からお願いします。

石原：今回の会議では特にありません。次回の DUO 会議に向けてまた何かありましたらメーリングリスト等でご意見いただければと思います。

## 3) 規律部 (◎駒込・都小石川)

中塚：規律部は何かありますか。

川上：特に問題はないと聞いています。

## 3. 事業部門 (岩野)

### 1) 審判部 (◎城西・立教池袋・日大豊山)

中川：ユース審判育成ということで、今後技術部と連携して、実際にユースが審判を務めて、それに対してアドバイスができるしくみづくりができればと思っています。選手が審判へのモチベーションをどのように保っていくかがリーグとしての課題になるかと思っています。

DUO リーグ主催の審判講習会を 3 月 9 日に城西で行います。80 名定員で、詳細は 1 月にメーリングリストでお知らせします。

岩野：上位リーグでも高体連の公式戦でも 4 級審判員が必要になってくると思いますので参加をお願いします。

### ■ 1 人審判について

岩野：後期イベントに関するアンケート結果をまとめた資料をご覧ください。後期イベントに関して、思ったことは、本郷高校では、1 人審判で行いオフサイドも横のラインを見て紳士協定で進め、タッチラインも出ていても笛がならなければ続いているのではなく、出たのであれば 1 回プレーを切りましょうというアナウンスを開会式でして、選手のフェアプレー精神を磨くことに主体を置いて開催しました。つまり、ユース審判員を育成するための 1 人審判ではなくて、本郷会場では、選手の紳士な心を養うために 1 人審判にさせてもらいました。ただ、審判の人数については各会場に任せました。審判の育成が目的の場合は、8 人制でも 3 人の審判が必要かと思っています。アンケートに足立学園が書いてくれた内容に私も賛成です。1 人審判で行うと、その 1 人が見なければいけないことは増えるので審判力が上がるかもしれませんが、ユース審判を育成するということに主体を置くと、1 人しか審判を行うチャンスが得られないよりも、3 人制にして 3 人がチャンスを得られるような方が良かったかとも思います。そう見ると、今日のチャンピオンシップも準決勝、決勝は 3 人制でやっていましたが、3 人の方がしまった形になると感じました。この 1 人審判に関してご意見をいただければと思います。

もう 1 つお話すると、本郷は DUO リーグについてユース審判を育成する機会と考えていますの

で、前期も含めて、コーチが主審をすることはいいです。基本的には選手に任せています。そのような観点からリーグ全体を見ると、前期リーグにおける監督やコーチの審判率の高さは問題だと思っています。チーム事情からお互いに審判を出す時に選手の人数が少なく、監督・コーチが致し方なくやることはあるかと思いますが、他校同士の審判を務めるのであれば、ユース審判育成の機会を取り上げてしまうのはどうかと思います。優秀審判にもっと多くのユース審判の名前が挙がるようになれば、アセッサー制度も確立してくると思います。

岸弘：私も何試合か審判を務めました。選手のクレームや乱暴な言葉を耳にします。そのような状況だと、ユース審判が審判を務めたくないと感じるのも理解できます。サッカーは曖昧なスポーツなのでプレーヤーがもっとお互いに許し合えるように指導する必要があるかなと思います。私の経験では文句を言うプレーヤーは審判をやりたがりません。だから、そのような文句を言う選手に審判をやらせるというのも1つの方法かなと思います。

加藤：DUOでは2部では選手に審判をやってと言えますが、1部では試合のスピードも速くなり、昇降格もかかっているので選手に頼みづらいと感じています。

岩野：それに関して言いますと、Tリーグは東京都から派遣の主審ですが、ものすごく悪い審判もあります。ですから、審判が悪いからゲームに負けたというのは単なる言い訳なので、高校生に審判を経験させていいと思います。

中塚：あまり意見が出ないので私から言うと、後期イベントに関してはほとんど1人審判で行うべきだと思っています。それは審判の育成であると同時にプレーヤーの育成になります。フットボールがどのように成立しているかという、原点に立ったところを理解する上でも良いと思います。フットボールははじめ審判のいない中で行っていて、途中からもめごとが起きたときに誰かにReferしようということでRefereeが生まれてきましたが、ルールをお互いに理解し、守っていれば審判なしでもできるものです。完璧に見きれないのは当然であって、これは何人審判を置いても完璧には見きれません。それでUEFAではゴールラインのところに審判を置いたりしていますが、これはいたちごっこです。それを分かった上で、1人審判でやっていけば、いろいろな人が育つと思います。やってみて気が付いたことは、1人の方が試合をコントロールするという「自覚」が芽生えるということです。特に「仕切り力」の低い今どきの高校生には、1人審判の機会を与えて、何時に選手を集めて、試合を行わせてという経験はものすごく大事だと感じています。

加藤さんがおっしゃったことに関しては、私も高校生であってもどんどん上のリーグで笛を吹かせるべきだと思います。ただし、私が常に選手に言っていることは、選手は練習して試合に臨むのだから審判も練習しろということです。練習試合で笛を吹いたり、事前に「仕切る」経験をしておくことがやはり必要だと思います。

あと、大人がやるのであればしっかり見本を示してほしいと思います。真ん中でふんぞり返っている大人の審判が最も良くないと思います。

高澤（筑波大附）：1人でやる時は確かに自覚とか生まれるし良いと思いますが、後期に1人審判の試合に出場すると、思ったよりミスジャッジが多かったり、オフサイドについては選手からの圧力で吹いているように感じたので、僕は対外試合は3人制でやった方がいいと思っています。主審と副審を違うチームから出せば、もともとの他人同士が話し合うことで、そこでも仕切る力がつくのではないかと思います。3人制の方が、審判をできる機会が増え、選手にとっても有意義な試合ができると思います。



安達(筑波大附):実際に後期イベントで1人審判をしましたが、練習しないと難しいなと感じました。  
審判の練習ができるのであれば1人審判が良いと思いますが、それができないなら3人でも仕方ないと思います。

岩野:いろいろ意見をいただきましたが、まとめると、ぜひ前期の昇降格がかかる試合でもユース審判を出してほしいと思います。後期については、来年度もまた各会場に1人制にするか、3人制にするかをお任せすると思いますが、一言開会式で触れられたらいいかと思います。特に1人審判で行う場合は、選手のフェアプレー精神を促す言葉があると良いと思います。今日も、ラインを割っていてもプレーを続けてしまうとか、オフサイドと自分で分かっているのに続けてしまうということがあったので、それではだめだという話を開会式でして欲しいと思います。審判については以上です。

## 2) 技術部 (◎豊島学院・都竹早)

北爪:資料をご覧ください。限られたスペースでのトレーニングをテーマにした講習会を行います。  
詳細は決まりましたらメーリングリストでお知らせします。各クラブ1~2名選手に参加していただければと思います。

岩野:各クラブの指導者も1~2名の中にカウントしますか。

北爪:いいえ、選手で1~2名を考えています。

## 3) 競技部

### ◆後期 DUO イベントーフリーサイズフットボールについて

#### ・結果報告(詳細別紙参照)

岩野:11大会を予定していましたが、悪天候の影響などもあり、7大会が行われました。本日のチャンピオンシップはその7試合で決まったチャンピオンと、それだけでは盛り上がり欠けるということで、会場を提供してくれたクラブと、開催予定であったが悪天候で中止になったクラブに出場権を与えようということで、城西と石川チーム、加盟クラブとして2位になっているチームとして豊南にも特別枠で参加してもらいました。この10チームで本日チャンピオンシップを行いました。

<Aグループ> 小石、都江北A、足立学園B、筑波A、豊南

<Bグループ> 午前2時のオーバーラップ(本郷)、足立西、城西、昭和一A、石川

岸:グループ分けについては、同一クラブのチームを分けたり、運営実績などから事務局でAグループ、Bグループに分けさせていただきました。

岩野:グループリーグの結果、決勝は筑波A対午前2時のオーバーラップ、準決勝は豊南対石川になりました。そして、優勝が午前2時のオーバーラップ、準優勝が筑波A、3位が石川、4位が豊南に決まりました。

## ■ 各賞選出

岩野:ベストプログラム賞を設けようと思っていましたが、アナウンスが遅れてしまったので、今回

はなしにしたいと思います。また、今期の主目的が運営能力の向上だったので、ベスト運営賞も選べればいいと思っていたのですが、リーグはじめに決めておらず、今回選出するのは難しいかと思えますので、次回は選出するというので、今回は MVP と MIP のみの選出になってしまうかなと思うのですが、いかがでしょうか。

岸卓：運営能力の向上を目的として、高校生の仕切る力を伸ばすことを目指しているのであれば、ベスト運営賞は今回も選出した方が良いでしょう。ベストプログラム賞については、プログラムを比較しないと決められないと思いますが、ベスト運営賞については、イベントに参加したチームが純粋に運営面で良かったところを選べばいいのではないのでしょうか。

中塚：では、該当者がいれば選ぶということで行きましょう。

### **MVP：村田捷行（かつゆき）（午前2時のオーバーラップ：本郷）**

中塚：通常 MVP は優勝チームから選んで来ましたが、本郷高校いかがでしょうか。

岩野：キャプテンで最後当たり千金のゴールを決めた村田捷行でお願いします。

### **MIP：該当なし**

中塚：Most Impressive Player、最も印象に残った選手ですね。

岸卓：本郷高校のゴールキーパーが、他のチームの選手ともすごく仲良くしてどうしてそんなに知り合いが多いのかと印象に残りました。

岩野：選抜で一緒になるとすぐに友達になってしまう子ですね。印象で言えば、とても印象的な選手だと思います。ずっと無失点できていて、彼のパントキックからの攻撃を昨日練習していたにも関わらず、今日寝坊して遅れて来て、決勝で1失点。彼ではじまり彼で終わった後期ではありましたが、印象的な選手ではあります。遅刻したのでなしにしてください。

### **ベストオーガナイザー：灘侑佑（筑波大附2年生）**

中塚：高校生から自分のクラブのメンバーを推薦したりしないの？

岸卓：筑波の運営チームは良かったのではないですか。

中塚：その推薦が筑波の生徒から出ないのが不思議なんだけど。主将の安達君、どうですか？

安達（筑波大附）：運営スタッフの中では2年生の灘が1番かと思います。

中塚：仕切る力のない今どきの高校生の中では珍しく仕切れる男です。仕切れるようになってきたのかな。特別賞かなと思っていたんだけど、どうしたらいいですかね。

岩野：今後生徒主体で運営していくことを考えたら、ベスト運営賞の枠で表彰した方がいいと思います。ベスト運営賞というネーミングがどうかとは思いますが。

岸卓：ベストオーガナイザー賞はどうですか。

岩野：もらった人がオーガナイザーが何か分かるといいですね。

### **特別賞：該当者なし**

### **優秀審判賞：該当者なし**

岩野：今日のスタッフの交流戦で審判をやった江北の子のジャッジがすごいなと思いました。オフサイドやファールは取れるし、1人でよくやるなと思いました。この試合しかその子を見ていないので、他の試合は分かりませんが。

中塚：不十分だと思います。

中塚：この2人（MVPとベストオーガナイザー）にはDUOトロフィーのレプリカが、出来上がり次第送られます。

岩野：来シーズンはもっと賞についても明確にした上でスタートしたいと思いますので、監督・コーチもどのような賞があるかを頭に入れて参加いただければと思います。

## ■ 後期イベント振り返り

岩野：もう一度アンケート結果をまとめたものをご覧ください。このアンケートをまとめていて感じた後期イベントの課題は3つかなと思います。1つ目は、11人制の試合数の確保。各クラブの試合数の少なさを見て私自身責任を感じました。試合数を確保するためにはどうしたらいいかを考えなければいけないと感じました。2つ目は、1つ目に近いですが、後期イベントの中でも11人制の大会をもっと開催しないといけないということです。3つ目は、ピッチの大きさと人数についてです。今日の筑波会場のピッチで8人制として適切だったのかなど考える必要がありました。ハーフコートゲームを始めた狙いは、運営能力向上と個人技術の向上。人数が少なければその分ボールに触れる機会も増えます。ゴールチャンスやシュートブロックの数も増えるということで、個人能力が上がるという狙いはありましたが、ピッチの大きさと人数が適切ではなければ、その狙いからも外れてしまう。皆さんから、来年度後期イベントもこの形（フリーサイズフットボール大会）でいいかを伺えればと思います。

長山：小石川は4大会に参加し、2大会を運営しました。1つは8チームでリーグ戦、もう1つは6チームでトーナメント戦ということで運営させていただきました。サイズは縦を10mから15mくらい短くして行いましたが、半日しかグラウンドを取れなかったのもあって、1試合の時間が15分1本とか20分1本とかで、待ち時間も多くて物足りなさを感じたチームもあったのではないかと思います。10分しか出られない選手もいたのではないかと思います。来シーズンはもう少しグラウンドを使える時間を長く押さえてやりたいと思います。人数については、11人制よりもボールタッチ数や走る距離が増えて良い練習になったのではないかと思います。

中塚：参加された時の印象や参加できなかったからこうなってしまったということも含めて、ぜひここで発言してください。

永井：うちの場合はグラウンドが小さいので、今回主催してみないかと声もかけていただきましたが、なかなか難しく、その分生徒の印象は、いろいろな会場に行けて、1日で決着がついて刺激を受けていました。来年もこのスタイルでやれたらと思います。

中塚：高校生もどんどん発言してね。

高澤（筑波大附）：後期にリーグ戦がなくなってしまうのは僕としては嫌で、試合数が確保できないクラブもあると思うので、試合の運営能力は付くと思いますが、リーグ戦がなくなるのは残念です。

安達（筑波大附）：筑波の2年生の意見をお伝えさせていただくと、このイベントスタイルの大会は楽しいとは皆思っているんですけど、11人制もやりたいと思っていて、1試合だけではなく1日つぶれるのも時間的に厳しいなと思っています。あと、2年生は去年の後期と比べて、試合数が少なくなったのも不満でした。

岸卓：後期でも 11 人制でやってもいいんですよね。そうしたら、11 人制でやりたいのであれば、やった方がいいのではないのでしょうか。グラウンドがない現状を考えると、今のどちらも選べるやり方はとても合理的だと思うのですが。

長山：生徒はすごく楽しそうにしているんですが、個人的には去年はもっと緊張感のあるゲームが何試合かやれていたのが、その辺のデメリットはないかとすごく感じています。去年は 6~7 試合経験してから新人戦に臨めました。こちらの持って行き方もあると思うのですが、サイズも違って、交流もできる試合と緊張感のある試合の両方が味わえるようなものができると良いと感じました。

岸卓：普段のリーグ戦では緊張感があり、このイベント形式だと緊張感が生まれにくい理由は昇降格があるかどうかの違いなどから来るのでしょうか。

長山：それもあると思いますし、試合時間も 40 分だったり、残留がかかっているかどうかなど生徒の参加する意識は異なるかなと思います。

中塚：あまり意見が出ないので、この辺にしておきますか。

岩野：そもそも後期は新人戦や学校行事などがたくさんある中でリーグ戦を行うのが難しく、12 月に入ってから急いで消化していた状況と、上のリーグと繋がったことによる入れ替えの難しさ、上のリーグが 1 シーズン制でやっている中で、DUO リーグが 2 リーグ制を維持する矛盾などから、前期はリーグ戦にして、後期はフリーのイベントにしようということで始まりました。後期については、トーナメントをやったり、別の形でのリーグ戦をやったり、毎年別の形でも良いということで始めました。しかし、いろいろこのようにやってみて、改善点も見えてきて、もう少し同じ形で続けてみたいというのが事業部としての意向です。改善したいと考えていることは、11 人制の試合を多くすることと、開催回数を増やすことです。グラウンドを持っているクラブにとっては判断を早くすることやゴール前での攻防など、他校でのハーフコートから得られるものはとてもあるのですが、グラウンドが小さいクラブは、小さいサイズで練習している成果をフルピッチで生かしたいのであって、土日まで小さいサイズでやりたくないというフラストレーションが溜まると思うので、11 人制のフルピッチでの試合も増やして緊張感も保ちながら、フリーサイズのフットボール大会を事業部としては来年も実施したいなと思います。

中塚：やってみて気づいたこともあるので細かい修正はしますが、大枠としては来年度も今年度と同じような形でワンデーフリーサイズを、11 人制を増やすことと、大会回数を増やすことを意識しながらやってみようという大枠については皆さん、いかがでしょうか。

蓑輪：江北は 11 人制大会を主催しましたが、8 チームトーナメントでやって 1 日ばかりでした。それだけしっかりグラウンドを確保できれば良いのですが、できない場合は 2 日に分けて運営したり、外部のグラウンドやグラウンドを持っているクラブからグラウンドを借りて自分たちで運営することも考えれば良いかと思います。

中塚：そうですね。それでは来年度もこのような形でいきましょう。次回もう 1 度話せるので、もっと詰めて提案できればと思います。

### Ⅲ. 2014年度へ向けて（詳細は次回のDUO会議で）

岩野：来年度前期に地区トップリーグに上がるチームは、2013年度DUO前期優勝の豊島学院はそのまま上がり、京華と荒川商業が昇格決定戦を行って京華が勝ったので、京華も上がります。もともと地区トップリーグにいた学習院と都江北は、来年度は地区トップリーグからDUOには落ちませんので、学習院・都江北・豊島学院・京華の4チームが来年度地区トップリーグで戦います。DUOリーグ2部のチャンピオンシップは、都江北B、都江北C、豊島学院Bが三つ巴の試合を行い、1位都江北B、2位都江北C、3位豊島学院Bということになったので、前回のDUO会議でDUO1部リーグに同じクラブから複数チームが出場することを認めることが決まりましたので、都江北B、都江北Cが来年度前期1部リーグで戦います。チーム数は、今年度と変わらず1部は8チーム×2リーグ（1部DU,1部UO）の16チーム、2部はチーム数によって2つのリーグになるか3つのリーグになるか分かりませんが、チーム数によってリーグ編成を行います。このような形でよろしいでしょうか。

中塚：よろしいでしょうか。よろしければ次回の会議までにどこのクラブが何チーム出るかの調査を行い、リーグを割り振り、次回の会議後に日程会議をそれぞれのリーグで行うという流れになります。次回のDUO会議は3月1日（土）でよろしいでしょうか。

→ 卒業式の学校が複数あり、3月2日（日）17:00～19:00 筑波大附属高校に決定。

中塚：次回の会議後に1部リーグの日程調整会議を行いますので、スケジュール表をお忘れなく。

### Ⅳ. その他

高校生からの感想

- ・難しかったこともありましたが、理解できたこともありました。
- ・自分たちがサッカーできているのも、このような先生方のおかげなので、常に感謝を忘れずにサッカーをしていきたいと思います。
- ・今日学んだことを参考にしていってほしいと思います。
- ・自分たちのためにこんなにいろいろな方が集まって考えてくださっているのありがたいことだと感じました。
- ・今まであまり考えずにやってきましたが、それぞれに狙いがあることが分かり、これからは考えながらサッカーをしていきたいと思いました。
- ・今回の2回目の参加でしたが、前回は何も分かりませんでした。今回は後期イベントについてなど分かり、今後の参考にしていきたいと思いました。
- ・高校生のために大人が考えている姿を見てありがたく思うとともに、この会に関わることができて良かったと思います。

その後、岸事務局長よりケニアでの活動報告（10分間）がスワヒリ語と映像を交えて行われた。

議事録作成：岸卓巨  
確認・一部修正：中塚義実